

1 ことがらの起こりやすさ

例題 右の表は、1 個の画びょうをくり返し投げたとき、針のある方が下向きになった回数を記録したものです。100 回、500 回、1000 回のそれぞれについて、針のある方が下向きになった割合を求めなさい。

投げた回数	下向きになった回数
100	61
500	309
1000	621

100 回のときは $\frac{61}{100} = 0.61$

500 回のときは $\frac{309}{500} = 0.62 (0.618)$

1000 回のときは $\frac{621}{1000} = 0.62 (0.621)$

解説

2 右の表は、1 個のボタンを投げる実験をして、表が出た回数をまとめたものです。

このボタンは、表と裏のどちらが出やすいかわかりません。

投げた回数	表が出た割合	裏が出た割合
100	0.390	0.590
200	0.385	0.605
500	0.382	0.618
1000	0.379	0.617

解答 裏

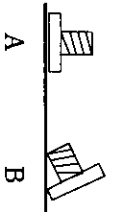
解説

表が出た割合と裏が出た割合では裏が出た割合のほうが大きい。

よって、裏のほうが出やすい。

3 下の表は、1 個のねじをくり返し投げたときの向きを記録したものです。表から、ねじが A の向きになった割合を求めなさい。ただし、小数第 2 位を四捨五入して答えなさい。

投げた回数	A の向きになった回数	B の向きになった回数
500	154	346



解答 0.3

解説

A の向きになった割合は

$$\frac{154}{500} = 0.308$$

よって 0.3

- 4 下の表はビンのふた 1 個を投げたときの、表向きになった回数を記録したものです。表を完成させなさい。ただし、小数第 3 位を四捨五入して答えなさい。

投げた回数	表向きになった回数	表向きになった割合
100	32	0.32
200	61	0.31
300	87	0.29

(解説)

それぞれ、 $\frac{\text{(表向きになった回数)}}{\text{(投げた回数)}}$ を求める。

$$61 \div 200 = 0.305$$

$$87 \div 300 = 0.29$$

よって、表は下のようなになる。

投げた回数	表向きになった回数	表向きになった割合
100	32	0.32
200	61	0.31
300	87	0.29

- 5 子どもと何度もじゃんけんをし、最初に何を出すかを記録すると、次の表のようになります。

	グー	チョキ	パー
回数	13	38	22

この子どもが最初にグーを出す割合を求めなさい。ただし、小数第 3 位を四捨五入して答えなさい。

解答 0.18

(解説)

記録の合計は $13 + 38 + 22 = 73$ (回)

そのうち、最初にグーを出したのは 13 回

$$\frac{13}{73} = 0.178 \dots$$

よって、この子どもが最初にグーを出す割合は 0.18